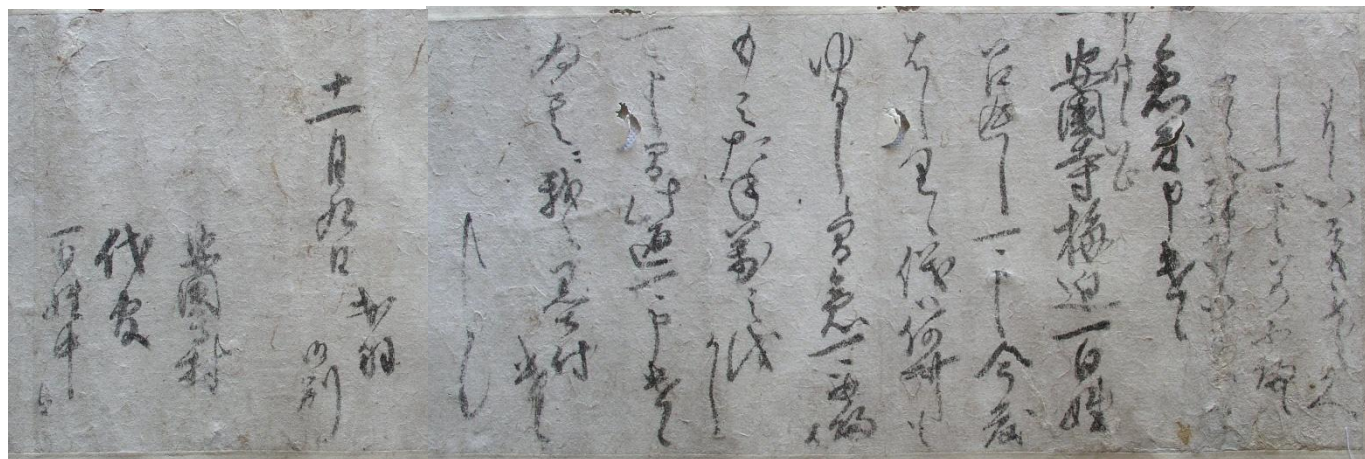


山家城主谷衛友

信長・秀吉・家康の時代を生き抜いた武将



「谷出羽守書状写」(一部)(個人蔵)

戦国の世から太平の世に日本を導いた三人と同時代に波瀾万丈の人生を送った武将が「谷衛友(もりとも)」です。衛友は何鹿郡山家に陣屋を構え幕末まで続いた山家藩谷氏の礎を築いた人物です。

現在放映中の大河ドラマで描かれている時代は、まさに谷衛友が活躍した時代です。

今回のミニ企画展では、綾部にゆかりの信長・秀吉・明智光秀等の古文書を紹介し、山家藩谷衛友の足跡を解説します。

会 期 令和8年7月18日(土)～8月30日(日)
休館日 月曜日(ただし、月曜日が祝日の場合は開館)
時 間 午前9時～午後5時まで(正午～午後1時までは休館)
会 場 綾部市資料館展示室

主な展示品

谷衛友肖像画(山家歴史の会所蔵)／織田信長朱印状(天正4年5月23日付、谷野大膳亮宛)(個人蔵)／御知行方目録(慶長6年7月10日付、谷出羽守宛)(山家歴史の会所蔵)他

展示解説 8月29日(土)午後1時30分～

解説：綾部市教育委員会社会教育課 西村正芳

山家資料館特別開室 8月29日(土)午後2時～4時